

沖永良部島
与論島

南の島を満喫 マイクロツーリズムプラン

プラン 2
プラン発案
鹿児島県
笠原大助さん(40代男性)

スケジュール

- 1 沖永良部空港に到着
→ポートシュノーケリング体験
→お母さんたちのおしゃべりも魅力のまごころ製糖を見学
→夕食は**いづみ寿司**で刺身定食
→ホテルへ
アオダイの刺し身が美味
- 2 午前中は周辺を散策
→**タラソ**おきのえらぶで温浴
→12時にフェリーで与論島へ
→シーカヤックとシュノーケリング、リーフ探検などを楽しむ
→夕食は居酒屋**ひょうきん**で黒糖焼酎
→ホテルへ
お酒が苦手な人も与論献奉の雰囲気を楽しもう
- 3 ウドノスピーチで散策
→カフェでアイスコーヒー
→昼食は与論空港近くの**蒼い珊瑚礁**でもずくそばを
→与論空港から鹿児島空港へ



透き通った海でマリンスポーツ まるで海外のような景色に感動

発案者の笠原大助さんは仕事が縁で沖永良部島にしばらく滞在することに。「短時間の移動、短期間の休日で、海外にいるような非日常の景色と感動の体験ができます。まさに鹿児島県民のためのマイクロツーリズム」と熱い思いを語ります。

サポーターの宮崎緑教授は「沖永良部島をはじめ、奄美群島の各島では自然と人間が共生し、自分も大きな地球の生態系の一部だと実感できます。人々の温かさ、思いやり溢れる島の空気が魅力です」と笑顔。



シュノーケリングで出合える海の生き物



与論島名物の「もずくそば」はハズせない!

POINT

初心者をはじめ、老若男女が楽しめるマリンスポーツの「シーカヤック」。大自然の中で思いっきり体を動かしましょう。



サポーター
千葉商科大学 国際教養学部長
奄美パーク 園長
宮崎緑教授

ウェルネス・ストーリー

沖永良部島・与論島は、サンゴ礁が隆起して形成された島であり、沿岸部には広大なラグーンが広がっています。波もなく穏やかなラグーン内でシュノーケリングすると、カラフルな熱帯性魚類が多数乱舞する姿を見ることができます。

島の周辺にはおよそ800種の魚が生息しており、ラグーン内でも100種以上を見ることができます。そのうち、お勤めは、2012年にヨロンスズメダイと命名された魚です。琉球列島に広く分布しますが、シュノーケリングで観察できるほど浅瀬にたくさんいるのは沖永良部島と与論島のみです。



鹿児島大学
総合研究博物館館長
本村浩之先生